

○ 矢沢地域振興会の役員会 & 定期総会のお知らせ

矢沢地域振興会では、3月7日に三役会議を開き、令和7年度の定期総会へ向けてのタイムスケジュールを別記のとおり決定しました。関係するみな様には別途通知しますのでご協力をお願いいたします。

● 各種団体の役員会 & 合同総会のお知らせ

各種団体の役員会は別記の日程で行うことで調整いたしました。該当する役員様には別途通知いたしますのでよろしくお願い申し上げます。なお、今年度も通常通り合同総会として開催いたしますので、各団体におかれましては対応方よろしくお願い申し上げます。

● 令和7年度各種団体合同総会

期 日：4月19日（土）14時30分～
（矢沢地域振興会定期総会終了後）
会 場：矢沢振興センター講堂
出席者：説明者（現三役）・役員・
各行政区連絡員・矢沢地域振興会役員
（各団体持ち時間約20分）

◎ 第4回～6回幸齢者介護予防講座開催



熊谷りつ子先生
2月26日



ラージャヨーガ：14名参加

チベット体操：17名参加 3月3日・佐藤寛尚先生



○ 矢沢地域振興会令和6年度第2回役員会
期 日：4月15日（火）18時00分～
会 場：矢沢振興センター大広間

○ 矢沢地域振興会令和7年度定期総会
期 日：4月19日（土）13時00分～
会 場：矢沢振興センター講堂
出席者：役員及び代議員

● 令和6年度各種団体監査・役員会等日程 （会場：矢沢振興センター）

- 4月7日（月）：公衆衛生
- 4月8日（火）：防犯協会
- 4月9日（水）：観光開発（三役会）
- 4月10日（木）：指導車管理・交通安全
- 4月11日（金）：地域環境・体協
- 4月14日（月）：観光開発

◎ 合同懇親会の開催（出席者全員対象）

期 日：4月19日（土）18時00分～
（合同総会終了後）
会 場：矢沢振興センター大広間

伸ばそう 健康寿命 まんてん教室：14名参加



3月10日
晴山弥子先生



♥ 「愛と命のコンサート」子どもたちへのメッセージ！

島区民会（高橋秀造会長）では、島こども園（古川勉理事長・川村優子園長）と共催により、島コミュニティセンターにおいて弓削田健介コンサートを開催。会場は熱気に包まれました。

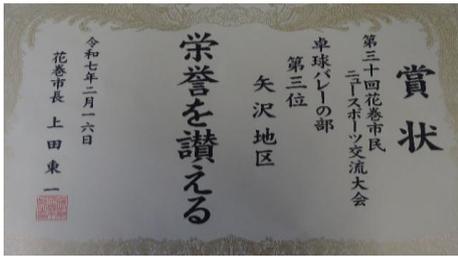
冬季講座



高らかに響きわたる園児の声！

**第30回花巻市民ニュースポーツ交流大会
「卓球バレー」の部で第3位に入賞！**

毎年2月に開催している「ニュースポーツ交流大会」が、2月16日花巻市総合体育館において開催されました。花巻12地区の代表選手200名によって、4種目「ポッチャ」「ユニカール」「ディスクッター」「卓球バレー」が行われました。矢沢地区より15名の選手、審判員の参加により、「卓球バレー」が第3位の入賞となりました。他の種目も熱戦となりましたが、総合入賞とはなりませんでしたが、来年に向けて矢沢地区では毎年1月に実施している「ニュースポーツ推進事業部会」の企画の成功に向けて、地区ごとに楽しい交流ができるよう確認し合って散会となりました。



矢沢地区スポーツ
推進協議会
会長 佐藤智明



○ 矢沢地域地球環境保全協議会事務局会議

矢沢地域環境対策協議会及び矢沢地域振興会と岩手県化製油脂協同組合は、両者から各4名ずつ出席して、2月19日に協同組合において事務局会議を開催しました。会議では、協同組合の環境対策及び設備更新に係る取り組みの説明があり、今後の環境保全協議会の開催等も含め意見交換が行われました。



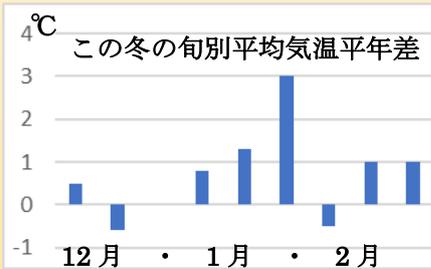
岩手県化製油脂協同組合の会議室において

【事務局員のつぶやき】（今年の冬を振り返れば！）

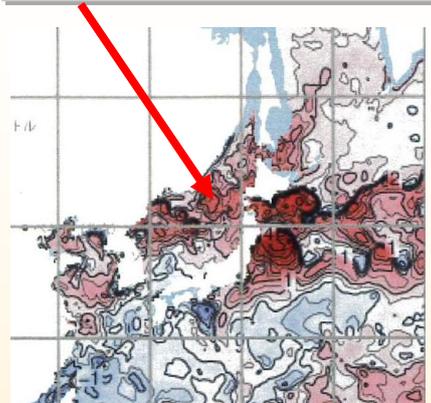
今年は2月上旬に日本に強い寒波が来襲し、各地に大雪による被害をもたらしました。テレビ等で「寒気」という言葉がよく使われます。「寒気」は周りの空気に比べて低温な空気のことを指します。強い寒気とは平年に比べてより低い空気のことをいっており、これは暖候期にもよく使われています。一方、「寒波」とは主として冬期に、広い地域に2~3日、またはそれ以上にわたって顕著な気温の低下をもたらすような「寒気」が到来することをいいます。つまり地域の平均的な気温に比べて著しく低温な気塊が波のように押し寄せてくる現象であるため「寒波」と呼ばれています。

今年の2月4日から9日にかけて全国的に大雪と低温をもたらした現象はまさに「大寒波」が要因でした。その時の地上天気図と日本周辺の海面水温平年差の図を右に示します。また下表に秋田における500hPa（冬期は約5200gpm上空）の気温の推移を表しています。この期間の平年値は約-32度で、-36度以下が大雪の目安と言われており、秋田の観測資料から-36度以下が6日間続いたこととなります。

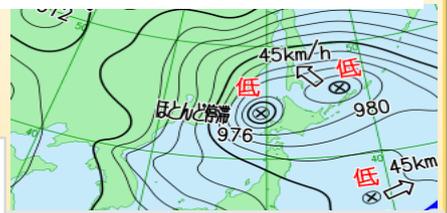
今年の冬（12-2月）は、比較的寒暖の変動が大きく感じられましたが、盛岡の資料から見ると12月中旬と2月上旬が平年より低く、1月下旬がかなり高く、それ以外はほぼ平年並みに経過しています（下図参照）。この冬の盛岡の平均気温は0.2℃（平年差+0.7℃）、降水量106.5mm（平年比63%）、日照時間386.4時間（平年比113%）、降雪量113cm（平年比70%）と等圧線の関係もあり、いつも以上により日本海側とは異なる現象となっています。



この冬も日本周辺の海面水温は平年差+3~6℃と高い状況が続く（上空との温度差大で不安定）



日本近海の海面水温へ年偏差



北海道付近の低気圧が猛烈に発達し停滞、このため北海道十勝地方の帯広で2月4日の日降雪量104cmの記録的な大雪。この後、上空の寒気を日本付近に引き込む。

2月4日~9日、秋田500hPa（上空約5200gpm・計算上の高度）の気温の推移

日	4日	5日	5日	6日	6日	7日	7日	8日	8日	9日
時間	21時	09時								
気温	-36.7	-39.1	-43.7	-40.2	-38.4	-43.3	-41.1	-39.7	-39.7	-39.0

